

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 飛騨神岡高等学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和5年1月23日(月) 14:10~16:00
- 3 開催場所 飛騨神岡高等学校 選択教室3
協議の前に、委員による授業参観を実施した。
また、協議の冒頭で代表生徒による発表を行った。
- 4 参加者

会 長	川上 佳洋	NPO法人宇宙まるごと創生塾 飛騨アカデミー代表
副会長	植田 要助	地域代表
委 員	山田ゆかり	総合型地域スポーツクラブ 一般社団法人 飛騨シューレ
	田中 智枝	田中料理教室
	田口由加子	NPO法人神岡・まちづくりネットワーク レールマウンテンバイク事務局
	帰家 圭吾	有限会社 かんや代表
	長原 学	育友会会長
	島田 紀子	東洋建材資材
オブザーバー	都竹 淳也	飛騨市長
	布俣 正也	岐阜県議会議員
学 校 側	近藤 和彦	校長
	藤守 学	教頭
	森下 学	事務長
	松本 正人	教務主任
	一ノ瀬伸郎	生徒指導主事
	楯 幸司	進路指導主事
	中村 英樹	教務部特別活動担当

5 会議の概要(協議事項)

(1) マニフェストに関する自己評価について

意見1: 授業評価アンケートにてほとんどの生徒が「授業がわかりやすい」と答えているが本校の少人数のメリットを最大限に活かしていることもこの回答につながっている。

(2) 各分掌からの自己評価について

意見1: 小中学校の授業を参観するとかなりパソコン等を使っているが、高校ではどのように取り組んでいるか。

⇒本日の参観授業においても生徒はプレゼンテーションなどでよく使っている。教員はICT導入の時期はかなり研修を行ったが、最近は大いぶん使えるようになってきたので以前より研修が少なくなっている。今後、新たな使い方を研修していきたい。

意見2：スクールカウンセラーの利用実績はあるか。

⇒毎月、定期的に来ていただいており、生徒だけでなく保護者の利用も多い。

意見3：大学の推薦入試には挑戦できる機会が多いのか。

⇒どの大学でも受けられるわけではないが、機会があれば積極的に受けるよう指導している。

意見4：少子化が進み、本校の入学人数が年々減少しているが、この危機的な状況をどのように地域の方々にわかってもらうかは難しい。

6 会議のまとめ

- ・少子化が進む中、生徒数を確保することは今後ますます難しくなっていくが、在籍している生徒数でどのような学校にしていくのかを考える必要がある。
- ・中学校、高校の部活動の地域部活動化については、地域の方々に協力してもらい、できるだけ早く着手したほうがよい。